



ネイチャーセンターだより

2014年8月号

いきもの図鑑



オオソリハシシギ (シギ科)

学名 *Limosa lapponica*

英名 Bar-tailed Godwit

体に対してクチバシがビックリするほど長いシギです。風蓮湖・春国岱の干潟にこの長いくちばしを差し込んでゴカイなどをつかまえます。8月は南への渡りの時期で、休憩のためにこのあたりにやってきますが、オオソリハシシギにそっくりなオグロシギもやってくるので見分ける時は要注意です。飛んだ時に尾羽が黒いか白っぽい（黒褐色の縞模様）かを見てみてください。後者ならオオソリハシシギです。

【上旬】

ハマナスの花が終わりに近づきますが、エゾフウロやウミミドリはしばらく楽しめます。夏本番を迎え、ルリイトトンボやコエゾゼミなどの虫たちも元気になります。小鳥たちのヒナも巣立ちの時期を迎え、ノビタキやヒバリ、ハシブトガラなどの巣立ちヒナが、親鳥と一緒にいる姿が見られることも！

8月の見どころ



【下旬】

夏の花から秋の花へと次第に入れ替わる季節がやってきます。ツリガネニンジンやキツリフネ、オオウバユリ、ハチジョウナなどが花を開きます。秋の渡りも本格的になりオオソリハシシギやトウネン、メダイチドリなどシギ・チドリの仲間やアジサシが干潟や浅瀬にやってきて羽を休めます。

見どころMAP

湿原や干潟では、タンチョウ家族が食べものを探しています。

コエゾゼミやイトトンボ、ニホンアマガエルなどの生きものたちが活発に活動しています。森ではオオウバユリやエゾトリカブトなどの花が見られます。

エゾツルキンバイやウンラン、シカグクなどが咲きます。

オオアカゲラ、ミソサザイなどの森の鳥が見られます。時にはキツネに出会えることも！

秋の渡りでシギ・チドリの仲間が渡ってきます。干潟をちょこまかと走りまわってエサを探しています。

ヒバリやノビタキ、シマセンニュウ、ノゴマなどの子育てが終盤を迎えます。

観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

春国岱の小鳥の調査

毎年、6月になると春国岱で繁殖をする小鳥たちの数や種類を調べています。コースは2つ。1つは第一砂丘の草原3.85km、もう1つは第二砂丘の湿原1.6kmで、一定速度で歩きながら自分の周囲25m以内にいる鳥を声や姿を頼りに記録していきます。

第一砂丘の草原コースは自然観察路とその延長で調査するのでよいのですが、第二砂丘の湿原コースは、第一砂丘から湿地を渡って第二砂丘に行かなくてはなりません。春国岱の砂州は年6から8mmくらいずつ沈んでいるので、第一砂丘と第二砂丘の間の湿地は年々水没の度合いを増しています。そのため調査は早朝4時頃に干潮になり砂丘間に陸地が現れる日を選んでいるのですが、ついに今年は砂丘の間にあった陸地が所々えぐれて、島状になってしまいました。胴付きはいてなんとか渡れないか頑張ってみました。どんどん足が沈んでいき、ついには断念せざるを得ませんでした。

かわりに、ここ数年行っていなかった第三砂丘の森で調査を行ってみました。第三砂丘の森は倒木のために昔の自然観察路がほとんどわからなくなってしまっていますが、まだコケの生える針葉樹の森が残っています。ところどころに広葉樹が混じる森には、ルリビタキやミソサザイの声が響き、林縁部ではオオジシギやノゴマが元気にさえずっていました。オオアカゲラも子育てをしていたようで、多い時には4羽同時に目の前に姿を現してくれました。

アカエゾマツコースを奥まで行くと少し第三砂丘のコケの森に行くことができます。その先のコースの復活の見通しはたっていませんが、森では今でも小鳥たちが元気に暮らしているようです。



頭が赤いのはオスの証し
(オオアカゲラ)

トピックス

海星小中学校 春国岱清掃活動

7月7日、春国岱の第一砂丘に流れ着いたり、捨てられたりしたゴミを海星小学校と中学校のみなさんが拾って春国岱をきれいにしてくれました。海星小中学校は春国岱に一番近い小中学校で、毎年清掃活動を行って来ています。今年は生徒児童24名と海上保安庁や先生27名の合わせて51名の方がゴミ拾いを行って来ました。春国岱にはペットボトルやビニールロープ、プラスチックのケース、ビニール袋、流木、貝殻など様々なものが流れ着くので、その中から人が作ったものや自然に戻らないものを拾ってもらっています。清掃活動の後は、小学校高学年と中学生が担当して春国岱の駐車場で拾ったゴミの分別を行いました。小学校低学年の児童は春国岱の自然やゴミの問題についてレンジャーから話を聞きました。今年の清掃活動はお天気が良く暑いくらいでしたが、たくさんのゴミを拾えました。



日本生命労働組合

オニハマダイコン防除

6月28日、春国岱の第一砂丘で勢力を伸ばしている外来植物オニハマダイコンを減らす活動を日本生命労働組合の方23名が行いました。オニハマダイコンは、種が海流に乗って流されてきて、漂着した場所でどんどんと数を増やします。春国岱では、駐車場から1.5km地点の砂浜や海側の作業道に大きな群落があるので、今回は頑張って1.5km地点まで歩いてゆき40Lのゴミ袋で25袋分くらいのオニハマダイコンを抜きました。抜いても振り返るとまたあるといったくらい生えていて、みなさんとても驚いていました。地道な活動ですが、これからも皆さまのご協力を得ながら少しずつ減らしていきたいと思っています。



春国岱クイズ

自然学習林を歩いていると、白いガクアジサイのような花が咲いている木があります。名前を「ノリウツギ」といいます。

枝の髓が太いので“中が空の木(空木=ウツギ)”という名がついています。では、“ノリ”という名はどうしてついたのでしょうか？

(A, Bから答えを選んでください)

A. 樹液が海苔のように黒いから

B. 木の皮から接着剤の糊が採れるから



和紙をつくるのに

必要!

繊維をくっつける

のにつかうよ!



先月号の答え…A

イベント情報！



観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。

開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
7月20日～ 8月31日 開館時間中	夏のクラフトコーナー 貝殻や木の枝、松ぼっくりなどをつかって工作をしよう！使いたい材料を持ってきて組み合わせても楽しいよ！	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。
8月30日(土) 10:00～ 12:00	オニハマダイコンバスターズ 春国岱に侵入してきたオニハマダイコンを減らす活動に参加してみませんか。外来生物ってなんだろう？ボランティア活動ってなにをするの？という方も、自然を楽しみながらちょっと自然にいいことをしてみようという方も気軽に参加ください。	無料	定員 20名（先着） 8/21 までにお申込みください ※小学生以上（小学生は保護者同伴） ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる服装、軍手、長ぐつ
9月28日(日)	ネイチャーセンター祭り ツリークライミングやおたのしみクラフトなど、いろいろなイベントがもりだくさん。詳細は後日！！	詳細は後日	詳細は後日

ボランティアさん募集中！

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スunkと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。
レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。
いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールドボランティア 300円

ボランティアグループスunk 1500円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆8月の休館日：6、13、20、27日

◆8月の開館時間：9:00～17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録